

## 第3部

# 2025(令和7)年度に講じようとする施策

第1節 地球温暖化対策の推進

第2節 持続可能な循環型社会づくり

第3節 自然との共生と森林(もり)づくり

第4節 安全・安心で快適な生活環境づくり

## 第1節 地球温暖化対策の推進

### ■脱炭素社会の実現に向けて

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
グリーンイノベーション加速化支援 (グリーンイノベーション推進課)	50,391	脱炭素経営の支援窓口の設置、脱炭素・資源循環に資する製品やサービスの開発支援、脱炭素の視点を入れて地域課題を解決したい市町村と事業者との実証支援等を通じて、環境と経済の好循環の創出に取り組みます。
2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例運用 (グリーンイノベーション推進課)	48	2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例に基づき排出量削減計画や再生可能エネルギー導入計画の届出制度を運用し、事業者による実効的な温室効果ガス削減を促進します。
ぐんまゼロ宣言住宅促進 (林業振興課)	105,500	県産木材を使用した省エネ・創エネ住宅である「ぐんまゼロ宣言住宅」の普及を通して、「温室効果ガス排出量ゼロ」の実現に取り組みます。
住宅産業活性化推進 (住宅政策課)	12,397	県民の住まいや住まい方に関する知識向上を図り、安全・安心な住宅取得等を通して、より豊かな住生活の実現を図るため、消費者向けのセミナーや、中小工務店の技術向上のための講習会を開催します。
都市計画指導調査 (都市計画課)	14,899	秩序ある効率的な「まちづくり」を進めるため、都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(都市計画区域マスタープラン)の改定に向けた検討を行います。
交通まちづくり戦略推進 (交通イノベーション推進課)	175,657	「誰もが安全で快適に移動できる社会」の実現に向けて、MaaSの社会実装に向けた取組や地域的な暮らしの足の確保、基幹公共交通軸を将来にわたって確保する取組を推進します(暮らしの足確保事業等)。
地域交通対策 (交通イノベーション推進課)	603,549	県民の日常生活に必要な移動手段であるバス路線を維持するとともに、公共輸送機関の安全で利便性の高い輸送を確保します。
鉄道振興 (交通イノベーション推進課)	211,116	中小私鉄等の安全・安定運行や活性化のため、路線の維持修繕や利用促進を図ります。
公共交通整備 (交通イノベーション推進課)	447,000	「誰もが安全で快適に移動できる社会」の実現に向けて、地域的な暮らしの足の確保や、基幹公共交通軸を将来にわたって確保する取組を推進します(鉄道整備促進事業等)。
交通安全事業 (道路管理課)	1,985,680	歩道整備、交差点改良等の交通安全事業を実施します。
道路改築 (道路整備課)	5,638,960	高規格道路等の整備を行い、災害時にも機能する強靱な道路ネットワークや物流効率化、観光振興等を支える道路ネットワークの構築を推進します。
社会資本総合整備(街路) (都市整備課)	1,103,479	災害に強く安全で快適なまちづくりを推進するため、市街地において、慢性的な交通渋滞の緩和や歩行者等の安全を確保する道路整備や無電柱化等の整備を行います。
社会資本総合整備 (道路整備課)	5,813,828	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークや物流効率化、観光振興等を支える道路ネットワークの構築を推進します。
信号灯器のLED化の推進 (警)交通規制課)	594,710	消費電力の削減を図るための信号灯器LED化の整備を推進します。
EVカーシェアリング実証実験 (グリーンイノベーション推進課)	74,575	カーシェアリングの試行や再生可能エネルギーを活用した充電に係るエネルギーマネジメント、災害時の電源活用など、EVを活用した様々な実証実験を行います。
ぐんまエコスタイル推進 (環境政策課)	977	出前講座の実施、各種イベントでのPR活動を通して、家庭における温暖化対策をぐんまエコスタイルとして展開します。
環境GS認定制度運営 (環境政策課)	6,272	環境GS認定制度の運営のほか、省エネ診断員・GS推進員の派遣や企業のエコドライブ推進、省エネ技術セミナー・マネージャー研修会の開催など、認定事業者の支援を行います。
地球温暖化防止活動推進員 (環境政策課)	973	県民に対し地球温暖化対策の普及啓発活動を行う地球温暖化防止活動推進員に対し、地球温暖化防止活動推進センターと協力し活動支援を行います。
地球温暖化対策地域協議会活動支援 (環境政策課)	678	県内5地域において、県民、ボランティア団体、事業者及び市町村等と協働して行う地球温暖化対策地域協議会事業を支援します。
農業経営力向上事業(担い手支援) (農業構造政策課)	60,000	地球環境に配慮した農業を推進するため、栽培用ハウスの長期展張被覆資材への張り替えなどを支援します。
小計	16,900,689	

## ■気候変動適応策の推進

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
地域気候変動適応センター運営 (グリーンイノベーション推進課)	466	「群馬県気候変動適応センター」を運営し、県民や関係者への情報発信等により、気候変動の影響による被害の回避・軽減を図ります。
小 計	466	

## ■再生可能エネルギーの導入促進・地産地消

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
小水力発電導入推進 (グリーンイノベーション推進課)	—	小水力発電の可能性調査結果の提供、支援制度の情報提供、関係機関の案内等を行い、事業化に向けた機運醸成や検討の後押しを行います。
事業用再生可能エネルギー設備等 導入資金 (グリーンイノベーション推進課)	2,251,059	再生可能エネルギー設備等を設置する県内企業を対象とした長期・低利の融資制度により、再生可能エネルギーの導入を推進します。
住宅用太陽光発電設備等導入資金 (グリーンイノベーション推進課)	378,560	住宅用太陽光発電設備等を設置する個人を対象とした低利の融資制度により、再生可能エネルギーの導入を推進します。
太陽光発電支援産業育成プロジェクト (グリーンイノベーション推進課)	—	安定的な太陽光発電の継続に向けたサポート体制を構築するため、保守点検事業者のデータベースの運用、保守点検の啓発等を行います。
再エネ導入支援 (グリーンイノベーション推進課)	489,204 (※)	県内の中小企業者等や個人が行う太陽光発電設備や蓄電池の導入に要する経費を補助することにより、県内における再生可能エネルギーの導入促進を図ります。 (※)2024(令和6)年度から繰越した予算額120,000千円が別途あり。
温泉熱発電設備導入可能性調査 (グリーンイノベーション推進課)	26,352	温度・湧出量が県内トップである草津町の万代鉱源泉を対象に、湧出しているものの未利用となっている温泉熱水を活用したバイナリー発電の導入可能性を探るため、発電利用の湯温・湧出量、発電出力、経済性、設備設置場所等の分析を実施します。
霧積発電所の建設 (企)発電課)	878,359	県が管理する霧積ダムの放流水を利用した、霧積発電所の建設を推進します。 ※2024(令和6)年度繰越金：878,359(千円)
ほたかめぐみ かわば発電所の建設 (企)発電課)	125,950	川場村を流れる薄根川を利用した、ほたかめぐみ かわば発電所の建設を推進します。
枯木沢みらい発電所の建設 (企)発電課)	10,500	中之条町を流れる水路の遊休落差を利用した、枯木沢みらい発電所の建設を推進します。
天狗岩植野(仮称)発電所の建設 (企)発電課)	—	前橋市を流れる天狗岩用水の落差工を利用した、天狗岩植野(仮称)発電所の建設を推進します。
四万発電所のリニューアル (企)発電課)	69,212	四万発電所において、施設の長寿命化と発電電力量の増加を目指し、リニューアル工事を推進します。
白沢発電所のリニューアル (企)発電課)	1,936,799	白沢発電所において、施設の長寿命化と発電電力量の増加を目指し、リニューアル工事を推進します。
桐生川発電所のリニューアル (企)発電課)	374,000	桐生川発電所において、施設の長寿命化と発電電力量の増加を目指し、リニューアル工事を推進します。
水素エネルギー活用調査研究 (企)発電課)	3,300	次世代のエネルギーとして期待されている水素エネルギーの利活用について、調査研究を実施します。
板倉NT水素利活用事業 (企)経営戦略課)	—	板倉ニュータウンにおける地域マイクログリッド事業及び水素利活用事業を推進します。
小 計	6,543,295	

## ■二酸化炭素吸収源対策

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
補助公共・単独公共治山事業による 森林整備 (森林保全課)	192,127	森林の公益的機能の維持増進を図るため、機能の低下した保安林等において抜き伐り等の森林整備を実施します。
保安林対策、保安林管理 (森林保全課)	3,533	公益的機能の発揮が特に期待される森林については、保安林に指定し、立木の伐採などの行為制限を通じて適切な管理を図ります。
小 計	195,660	

## ■フロン類排出抑制対策

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
フロン排出抑制対策 (環境保全課)	1,512	フロン排出抑制法の円滑かつ適正な執行を図り、オゾン層保護及び地球温暖化防止を推進するため、立入検査、啓発活動、講習会等を行います。
小 計	1,512	
第1節 合計	23,641,622	

## 第2節 持続可能な循環型社会づくり

### ■5Rの推進

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
循環型社会づくり推進 (廃棄物・リサイクル課)	392	「第三次群馬県循環型社会づくり推進計画」に基づき、5R宣言の啓発、リユース食器活用の促進等を通じて5Rを推進します。
環境にやさしい買い物スタイルの普及 (環境政策課)	203	環境への負荷をなるべく小さくすることを考えて買い物をする消費スタイルを「環境にやさしい買い物スタイル」と称し、県民・事業者・行政が連携して県民運動を盛り上げます。
自動車リサイクル法等対応 (廃棄物・リサイクル課)	2,924	自動車リサイクル法の登録及び許可(更新)に関する事務並びに、これらの関連事業者に対する立入検査等により適正処理を徹底するとともに、資源の有効利用を推進します。また、家電・小型家電・容器包装リサイクル法等の各種リサイクル法についても、資源の有効活用のためリサイクル率の向上等に取り組みます。有害使用済機器の保管等を行う者からの届出受付を行うとともに、再生資源物の屋外保管事業場に対する有効な規制を検討します。
食品リサイクル推進 (ぐんまブランド推進課)	—	食品循環資源の再利用等に関する関係者の意識を高めることにより、群馬県の循環型社会の形成を促進します。
食品ロス「ゼロ」推進 (廃棄物・リサイクル課)	1,651	食品ロスを削減するため、ぐんま食品ロス削減推進店制度の運用などMOTTA I N A I 運動の推進やフードバンク活動の支援を行います。
プラスチックごみ「ゼロ」推進 (廃棄物・リサイクル課)	443	プラスチックごみの削減に積極的に取り組む県内事業者を「ぐんまプラごみ削減取組店」として登録し、取組の状況把握と拡大支援を実施します。また、マイボトルを推進するため、県庁舎にウォーターサーバーを設置する予定です。
プラスチックごみモニタリング (環境保全課)	5,431	河川中のマイクロプラスチックの現状を把握するため、調査を行います。
流域連携によるマイクロプラスチック調査体験ツアー (環境保全課)	604	プラスチックごみの削減に主体的に取り組む人材を育成するため、マイクロプラスチックを学ぶバスツアーを実施します。
小 計	11,648	

### ■廃棄物等の適正処理の推進

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
廃棄物処理施設関連市町村支援指導 (廃棄物・リサイクル課)	107	一般廃棄物の処理の効率化等を推進するため、処理の広域化の支援を行います。また、一般廃棄物の5Rと適正処理を推進するため、処理施設の管理者に対して廃棄物処理技術の情報提供や説明会の開催を行うほか、立入検査や技術指導を行います。
浄化槽対策 (廃棄物・リサイクル課)	18,047	浄化槽教室の動画配信やパンフレットの作成・配布により、浄化槽管理者に対して、正しい知識の普及と適正な維持管理指導を行います。未管理又は法定検査を未受検の浄化槽の使用者等に対して、適正管理や受検を指導します。また、環境衛生相談員を設置し、浄化槽の各種届出事務の円滑化と適正な維持管理を図ります。
処理業者育成及び処理施設指導 (廃棄物・リサイクル課)	9,109	循環型社会の構築に必要な生活環境に配慮した産業廃棄物処理施設の設置を推進するとともに、処理業者に対する立入検査における指導等により適正処理の徹底を図ります。

### 第3部 2025(令和7)年度に講じようとする施策

産業廃棄物情報基盤整備 (廃棄物・リサイクル課)	8,427	産業廃棄物相談員3名を配置し、排出事業者に対する指導・助言を行うほか、専用ホームページ「群馬県産業廃棄物情報」等を運営し、関係法令や処理業者データ等に関する情報を処分業者、排出事業者や県民に積極的に提供することにより、産業廃棄物の適正処理、再利用及び減量化を推進します。
P C B 廃棄物適正処理対策 (廃棄物・リサイクル課)	20,630	高濃度P C B 廃棄物の処理完遂に向けて、必要な場合に行政代執行を行います。
P C B 廃棄物早期処理推進 (廃棄物・リサイクル課)	16,312	民間事業所において保管されているP C B 廃棄物及びP C B 使用製品の状況について、立入調査及びアンケート調査により把握し、P C B 廃棄物の早期処理を推進します。
P C B 廃棄物適正処理広域協議会参画 (廃棄物・リサイクル課)	1,154	県内の事業場で保管されているP C B 廃棄物の処理が円滑に進むよう、北海道P C B 廃棄物処理事業広域協議会に参画します。
安定型最終処分場モデル研究事業 推進 (廃棄物・リサイクル課)	1,859	2019(令和元)年9月に廃止となり、地元住民、県及び市からなる跡地利用策定委員会の方針に基づき里山として整備した安定型モデル最終処分場の跡地について、県及び事業者により維持管理を行っていきます。
不法投棄等監視指導 (廃棄物・リサイクル課)	41,352	各種広報媒体を活用した事業者・県民等の意識啓発による「未然防止」や産廃110番による情報入手、産廃Gメンや休日等監視委託による「早期発見」に努めます。また、ドローンを活用した綿密な調査や出向警察官等職員の原因者に対する強力な是正指導による原状回復等の「早期解決」及び不適正処理の再発防止等を図ります。
不法投棄監視市町村連携 (廃棄物・リサイクル課)	43	県が所有する不法投棄監視カメラを市町村に貸し出すほか、市町村職員を県職員に併任して、廃棄物処理法に基づく産業廃棄物に係る立入検査権を付与し、市町村と共同での立入検査実施など、市町村と連携した不法投棄監視体制の整備・強化に努めます。
土砂埋立て適正化推進 (廃棄物・リサイクル課)	424	県土砂条例に基づく厳正な許可の審査及び許可事業者に対する立入検査等の指導監督、無許可事業者の取締り、市町村土砂条例の制定促進などにより、土砂埋立ての適正化を推進します。
小 計	117,464	

#### ■災害廃棄物処理体制の強化

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
災害廃棄物処理対策 (廃棄物・リサイクル課)	487	「群馬県災害廃棄物処理計画」に基づき、災害廃棄物が適正に処理されるよう体制を整備します。また、災害廃棄物の適正かつ円滑・迅速な処理体制の構築を図るため、市町村災害廃棄物処理計画の策定を支援するほか、災害対応力向上のための研修等を実施します。
小 計	487	

#### ■持続可能な社会を支える人づくり

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
地域環境学習推進 (環境政策課)	470	地域に密着した環境学習の機会をより多く提供し、県民が環境との関わりについて学び、考え、環境保全行動につながるための契機とすることを目的に、環境アドバイザー等に企画立案から実施までを委託します。
子ども向け地域環境学習推進 (環境政策課)	269	子どもたちを対象とした環境学習会やイベントに環境アドバイザーを派遣し、地域の環境学習を支援します。
動く環境教室 (環境政策課)	3,474	子どもから大人まで多くの県民が体験的に環境問題を学べるよう、機材を搭載した「エコムーブ号」を活用し、県に登録し研修を受けた環境学習サポーターが、学校をはじめ市町村等の要望により出張環境教室を開催します。
こどもエコクラブ (環境政策課)	507	2011(平成23)年度から(公財)日本環境協会が主管となった「こどもエコクラブ事業」と連携し、県内登録クラブの活動に対し独自の支援を実施しています。主な事業として県内のこどもエコクラブ交流会や学習会などを実施します。
ぐんま環境学校(エコカレッジ) (環境政策課)	182	広く県民を対象とした講座を開講し、講義やワークショップ、フィールドワークを通じて、地域における環境学習や環境活動を自ら主体的に実践できる人材を養成します。

体験型の環境学習 (尾瀬高等学校)	—	環境専門科目(学校設定科目)や「総合的な探究の時間」を通して、尾瀬や吹割の滝、武尊山、日光白根山などの地域の豊かな自然を生かした環境学習を実践します。
多様な関係者と連携した環境保護活動 (尾瀬高等学校)	—	国や県、市町村、企業、地域団体など多様な関係者と連携し、主に野生動物による被害を受けている高山植物の保護活動を日光白根山や尾瀬、玉原高原などで行います。
G-n e c(ジーンেক) ネイチャークラブ (尾瀬高等学校)	—	子どもからお年寄りまで幅広い世代の方と一緒に自然観察や自然遊びを行い、地域の自然を再発見することを主なねらいとした体験活動を毎月第3土曜日に行います。
環境ボランティア (尾瀬高等学校)	—	「地域環境を愛する気持ちの表現」を目標に、地域全体に発信していく実践活動として「環境ボランティア」を実施します。学校全体や部活動、個人など様々な形式で実施します。
小 計	4,902	

### ■多様な主体との連携・パートナーシップの強化、自主的取組の拡大

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施 策 の 概 要
地域環境推進 (環境政策課)	10,974	県民や企業の環境意識の醸成と、地域環境課題の解決に向けた行動を促進するため、環境SDGsファシリテーターの活動を通じて、引き続き環境SDGsを広く波及させ、県民のライフスタイルの変革を推進します。
環境サポートセンター (環境政策課)	9,662	学校や地域における環境学習や環境活動を総合的に支援していくため、環境サポートセンターを設置・運営します。
森と木のまつり (林政課)	1,275	関係団体と協力して森林・林業の役割や重要性についてPRするイベントを開催するとともに、各地域の「森と木のまつり」を支援します。
群馬県環境アドバイザー育成 (環境政策課)	79	地域における環境保全活動の牽引役として活動する「群馬県環境アドバイザー」を育成、支援します。
環境影響評価制度の運営 (環境政策課)	1,110	環境への影響が著しいものとなるおそれのある大規模な開発事業について、「環境影響評価法」、「環境影響評価条例」に基づき、環境影響評価手続を実施します。
群馬県環境賞顕彰 (環境政策課)	163	環境分野で優れた実践活動、自然保護等に顕著な功績のあったもの、「ぐんま5つのゼロ宣言」実現に貢献する活動を行ったものに群馬県環境賞を授与し、県民の環境意識の高まりと環境保全活動へのより一層の参加を促進します。
市民活動支援 (県民活動支援・広聴課)	—	環境保全活動等の市民活動を支援するため、NPO・ボランティアサロンぐんま(県庁昭和庁舎1階)やホームページ等により、NPOやボランティア活動に関する情報の提供、交流機会の提供などを行います。
ぐんまDX技術革新補助金 (地域企業支援課)	70,405	本県産業の競争力強化と新産業創出を促進するため、県内中小企業等が行うデジタルを活用した製品開発やDX推進等を支援します。
花と緑のクリーン作戦 (都市整備課)	16,601	県が管理する道路や河川等を含む区域において、草刈り等の美化活動を行う10人以上の団体に奨励金2万円を交付し、その活動を支援します。
河川除草作業の自治会委託 (河川課)	95,000	地域活動の活性化や河川除草費の縮減を図るため、地元自治会等への除草作業委託を実施します。
砂防指定地内除草の自治会等委託 (砂防課)	8,100	地域活動の活性化や砂防指定地の除草費の縮減を図るため、地元自治会等への除草作業委託を実施します。
小 計	213,369	

### ■総合的な環境対策の推進

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施 策 の 概 要
環境基本計画推進 (環境政策課)	—	群馬県環境基本計画2021-2030は、策定から2025(令和7)年度末で5年が経過するため、社会情勢の変化や本計画の進捗状況等を踏まえて中間見直しを行います。
環境白書等作成 (環境政策課)	3,090	「群馬県環境基本条例」第8条に規定された「環境に関する年次報告」として、環境白書等を作成します。
小 計	3,090	

第2節 合計	350,960
--------	---------

### 第3節 自然との共生と森林(もり)づくり

#### ■生物多様性の保全

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
自然環境保全地域等整備 (自然環境課)	2,740	県自然環境保全地域及び緑地環境保全地域において、各地域の保全計画に基づいて保全事業等を実施します。また、そのすばらしさを紹介し、自然保護の普及啓発を図ることを目的に、「自然観察会と保護活動」を実施します。
良好な自然環境を有する地域学術調査 (自然環境課)	3,262	県自然環境保全地域をはじめ県内の良好な自然環境を有する地域において、地形・地質、植物及び動物などの自然環境の現況を把握し、適正な保全対策を行うための基礎資料の収集を目的に学術調査を実施します。
自然保護指導員兼県内希少野生動物種保護監視員の設置 (自然環境課)	7,210	県内全域に自然保護指導員兼県内希少野生動物種保護監視員を委嘱して、自然環境保全の状況の把握及び希少野生動物種の保護のため、巡視、監視、指導等を行います。
生物多様性保全推進 (自然環境課)	20,000	2016(平成28)年度に策定した生物多様性ぐんま戦略の改定を行います。また、群馬県版ネイチャーポジティブ経営エコシステムを構築するため、ネイチャーポジティブ推進プラットフォームを創設し、運営します。
小 計	33,212	

#### ■生態系に応じた自然環境の保全と再生

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
自然環境保全審議会の運営 (自然環境課)	455	自然環境の保全や鳥獣保護事業などに関する案件の審議を行います。
総合的病害虫・雑草管理(I P M)の推進 (農政課)	159	病害虫の発生しにくい環境づくり、環境との調和を図る観点から、化学農薬に偏らない防除技術として、生物的防除や物理的防除、耕種防除等を利用し、病害虫の発生を経済的被害が生じるレベル以下に抑え、維持する総合的病害虫・雑草管理(I P M)の確立推進を行います。
農薬適正使用推進 (農政課)	1,048	本県農産物の安全確保のため、農産物等安全検査を実施します。また、農薬危害防止を図るため、農薬立入検査の実施や各種研修会の開催などにより、適正な農薬の販売、使用、管理の推進を行うとともに、県ホームページ等による農薬情報の提供を的確に行います。
中山間地域等直接支払交付金 (農政課)	146,599	農業の生産条件が不利な中山間地域における農業生産活動を継続する取組に対して交付金を交付し、遊休農地の発生を防止し、国土保全、水資源の涵養、農村集落機能の維持・強化を図ります。
遊休農地再生利用事業 (農業構造政策課)	3,775	農地集積や県振興品目の栽培等を目的として、市町村等が行う遊休農地の発生防止や、担い手等が遊休農地等を引き受けて農地を再生利用する取組を支援します。
中山間地域ふるさと保全・活性化対策 (農政課)	19,178	中山間地域等における農地や農業用排水路、ため池などの土地改良施設が有する多面的機能の発揮と地域住民活動の活性化を図るため、地域住民による保全活動に対する支援、普及啓発を行います。
種の保護条例の推進 (自然環境課)	168	種の保護条例に基づく保護管理事業計画の策定に向けた検討会を開催し、特定種の選定を行います。
尾瀬保全推進 (自然環境課)	278,123	尾瀬の保護と適正利用の推進を図るため、山の鼻ビジターセンターの管理運営や荒廃した至仏山東面登山道の植生回復、利用者の安全対策等を、尾瀬保護財団をはじめ関係者と連携・協力しながら実施します。また、学校・地域を対象とした自然教室などの環境教育のみならず、2021(令和3)年度から、新たに尾瀬の魅力を生かし、実社会での課題解決に生かす探求的・教科横断的な教育であるS T E A M教育を展開するとともに、官民共創による尾瀬の保全と利用の好循環を実現する施策「尾瀬サステナブルプラン」を実施しています。

浸水被害の軽減対策(河道拡幅、調節池整備) (河川課)	3,137,782	河道拡幅や調節池整備などの河川整備を実施し、浸水対策の推進を図ります。河川整備に合わせて自然環境に配慮した川づくりを推進します。
小 計	3,587,287	

## ■野生鳥獣対策と外来生物対策への取組

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施 策 の 概 要
鳥獣害対策地域支援事業 (蚕糸特産課)	130,349	市町村が実施する鳥獣被害対策(有害鳥獣の捕獲、発信機を活用した計画的な追い払い活動等)を支援することにより、野生鳥獣による被害の防止を図ります。
鳥獣被害防止総合対策交付金 (蚕糸特産課)	261,800	市町村の被害防止計画に基づき、市町村協議会等が実施する地域ぐるみの被害防止活動、侵入防止柵の設置、有害捕獲に係る捕獲活動等を支援することにより、野生鳥獣による被害の防止を図ります。
河川内緩衝帯整備 (蚕糸特産課)	200,000	野生イノシシの移動経路となっている河川内の伐木等を実施し、豚熱感染拡大を防止します。
特定鳥獣適正管理計画の推進 (鳥獣被害対策支援センター)	27,264	シカやイノシシなど、生息数の増加が著しい特定鳥獣について、捕獲目標に基づく計画的な捕獲を推進します。
鳥獣被害広域対策 (鳥獣被害対策支援センター)	48,684	広域で行動するシカの行動把握などを行い、捕獲や被害防除対策につなげます。またICTを活用した捕獲技術の普及や日本獣医生命科学大学との共同研究により被害対策技術の普及等に取り組みます。
鳥獣害に強い集落づくり支援事業 (鳥獣被害対策支援センター)	5,800	地域住民による効果的な被害対策の実施や継続的な実施体制づくりなど、地域ぐるみの取組を支援します。また、特に被害が大きい地域について、市町村等と連携して重点的な対策に取り組みます。
鳥獣被害対策人材育成 (鳥獣被害対策支援センター)	2,648	各地域で鳥獣被害対策や捕獲に取り組む人材を育成するため、被害対策等に必要知識を習得するための研修を実施します。
小規模農村整備事業 (農村整備課)	17,106	鳥獣による農作物被害を防止するため、市町村等が行う鳥獣被害防止施設の整備を支援します。
農地耕作条件改善事業 (農村整備課)	44,000	鳥獣被害を防止するため、侵入防止柵の設置を支援します。
野生鳥獣保護 (自然環境課)	566	ニホンジカによる植生の食害を防止するため、シカ侵入防止柵を設置します。
指定管理鳥獣捕獲等事業 (自然環境課)	86,809	ニホンジカやイノシシによる自然生態系への影響及び農林業被害が深刻化している尾瀬地区、赤城地区、神津地区及び秋畑地区において、生態調査の知見をもとに効率的な捕獲を推進します。ツキノワグマ出没時の体制構築や出没訓練等の人身被害対策を実施します。
狩猟免許試験・捕獲担い手確保対策 (自然環境課)	11,663	狩猟免許試験、出前型のわな猟試験、事前講習テキスト代無料、わな技術講習会、高校生を対象とした狩猟に関する特別授業等を行います。
造林推進対策(森林獣害防止対策) (林政課)	18,711	森林獣害防止のために森林組合や森林所有者が行う忌避剤散布、獣害防止柵、獣害防止帯等の設置に対し助成を行います。
補助公共造林(鳥獣害防止施設等整備) (林政課)	61,090	植栽、間伐等と同時に進行する忌避剤散布、防止柵設置、獣害防止帯等に対し助成を行います。
造林推進対策(森林被害跡地整備) (林政課)	3,119	野生獣類被害など所有者の責に帰さない森林被害地に対し、被害木の除去及び整理に対し助成を行います。
芳ヶ平周辺地域におけるニホンジカ対策 (林業試験場)	629	貴重な森林植生を守るため、ニホンジカの低密度地域の湿原や草地を中心にしたモニタリングと、早期の被害対策のための手法について研究します。
獣類被害対策の効率的な管理手法の開発 (林業試験場)	1,026	ニホンジカ等から植栽木を保護するネット柵について、低コストな管理手法を開発します。
カワウ生息状況調査 (蚕糸特産課)	879	カワウの生息状況をモニタリングするため、漁場におけるカワウの飛来数調査を行います。カワウ被害軽減のため、追い払いを兼ねた捕獲を行います。
コクチバス駆除 (蚕糸特産課)	4,050	コクチバスの被害軽減のため、奥利根湖や烏川等で駆除を実施します。
クビアカツヤカミキリ総合対策 (自然環境課)	13,064	被害が拡大しているクビアカツヤカミキリについて、防除対策補助事業、県有施設等を対象とした防除対策資材の貸出し、目撃情報報告システム(ぐんまクビアカネット)の運用など総合的な対策を実施し、被害の拡大を防止します。

### 第3部 2025(令和7)年度に講じようとする施策

鳥獣保護管理指導員の設置 (自然環境課)	22,556	県下に65名の鳥獣保護管理指導員を委嘱し、鳥獣保護区における野生鳥獣の生息環境保全や狩猟のパトロール、野生鳥獣に対する思いやりや理解を促すための普及啓発など鳥獣保護対策を推進します。
鳥獣保護区の指定 (自然環境課)	2,002	野生鳥獣の保護増殖を図るため、鳥獣保護区の指定や標識の設置等を行います。
野鳥病院の運営 (自然環境課)	10,064	傷病鳥獣の救護を通じて野鳥保護への理解を図りながら、野鳥病院の運営を行います。
鳥獣生息調査 (自然環境課)	2,167	県内の野生鳥獣の生息状況等を把握し、適切な鳥獣保護行政の基礎資料とするため、市町村別鳥類生息密度調査、ガン・カモ・ハクチョウ類の一斉調査を行います。
鳥獣保護思想普及啓発 (自然環境課)	872	愛鳥モデル校育成指導、愛鳥週間のポスター原画募集等を行い、広く県民に野生鳥獣保護の重要性を普及啓発します。
鳥インフルエンザ対策 (自然環境課)	898	鳥インフルエンザの疑いのある死亡野鳥の回収運搬を衛生的に行うための薬品等を購入します。
特別天然記念物カモシカ食害対策 (文化財保護課)	23,739	特別天然記念物カモシカの県内2つの保護地域(越後・日光・三国山系カモシカ保護地域、関東山地カモシカ保護地域)において調査を実施し、カモシカの保護管理及び食害防止のための基礎資料を収集します。また、調査成果を活用し、食害対策の普及啓発事業を実施します。令和6～7年度は、隣県と協力して関東山地カモシカ保護地域の特別調査を行います。群馬県はその幹事で、予算には他県の負担金が含まれています。
漁場環境対策 (蚕糸特産課)	3,454	河川の縦断的な連続性を回復するため魚道の整備により、魚類等の生息環境の改善を行います。
小 計	1,005,009	

#### ■自然とのふれあいの拡大

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
自然公園等管理運営 (自然環境課)	55,602	県立3公園(赤城・榛名・妙義)、国立・国定公園における公園事業や各種行為の許認可指導を行うほか、適正利用を推進するため、自然公園内の施設の維持管理や首都圏自然歩道及び中部北陸自然歩道の管理を行います。また、尾瀬をはじめとする自然公園内で美化活動を行う団体に対して助成を行うほか、シラネアオイをはじめとする貴重な高山植物の保護・復元に取り組みます。また、草津白根山系における硫化水素ガス事故防止対策を行います。
自然公園等施設整備 (自然環境課)	37,052	県立3公園(赤城・榛名・妙義)、国立・国定公園等をはじめとした自然公園等における自然環境の保護と利用の適正化を図るため、施設の整備や補修を行います。
県立赤城公園活性化整備 (自然環境課)	1,107,645	赤城公園の活性化に向けた基本構想に基づき、拠点整備として位置づけられた施設を整備します。
県立赤城公園施設整備 (自然環境課)	1,700	赤城公園の活性化のために必要となる、県有施設等の整備を実施します。
群馬県野鳥の森施設運営 (自然環境課)	6,959	県民の野鳥観察や鳥獣の生態学習等の場としての活用を図るため、「群馬県野鳥の森施設」の適正な運営管理を行います。
県立森林公園の整備・運営 (林政課)	108,555	県内9か所の森林公園において、県民に保健休養や学習の場を提供するため、森林整備をはじめ歩道整備や老朽施設の改修等を行います。
ぐんま昆虫の森運営 (教)生涯学習課)	165,737	企画展や季節展を実施するとともに、ボランティアの方々との協働や地元協力団体との連携強化により、「自然観察会」や「里山生活」等の各種体験プログラムを展開します。
ぐんま天文台運営 (教)生涯学習課)	152,303	天体観望や星空案内、天文イベント等の本物体験や、地域・学校に職員を派遣する天体観察会、大学での天文講座等、宇宙・自然の不思議さやすばらしさを実感できる事業を幅広く展開します。
青少年自然体験等事業 (教)生涯学習課)	28,886	青少年自然の家(北毛・東毛)において、集団宿泊や自然体験等の各種体験活動を通じて、心身ともに健全な青少年育成に努めます。
自然史博物館 (文化振興課)	65,893	常設展示に加え企画展等の特別展示を開催するほか、県内の生物・古生物・地質調査などの学術調査・研究と資料の収集を行います。また、ファミリー自然観察会、ミュージアムスクールや高校生学芸員、移動博物館などの教育普及活動等、自然・環境に関わる各種事業を実施します。
森林環境教育推進 (林政課)	14,989	森林環境教育を実践する「緑のインタープリター」の養成・派遣や、緑の少年団の活動支援などを行います。

浸水被害の軽減対策(河道拡幅、調節池整備) (河川課)	3,137,782	河道拡幅や調節池整備などの河川整備を実施し、浸水対策の推進を図ります。河川整備に合わせて自然環境に配慮した川づくりを推進します。
小 計	4,883,103	

## ■森林環境の保全

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施 策 の 概 要
補助公共造林、造林推進対策、間伐促進強化対策 (林政課)	1,150,078	間伐などの施業を通じて、健全な森林を育成します。
森林病虫害等防除事業 (林政課)	58,692	森林病虫害による被害の予防、駆除を実施します。
県産種苗の生産技術の高度化・高品質化に関する研究 (林業試験場)	408	本県に適したコンテナ育苗技術の高度化、品質の向上及びカラマツ種苗の安定のための技術開発に取り組みます。
ぐんま緑の県民基金水源地域等の森林整備事業 (林政課)	628,889	条件不利森林の間伐や水源涵養機能等の低下が懸念される森林の整備を実施するとともに、松くい虫や気象被害にあった森林を再生します。
地球温暖化と樹木の病虫害に関する研究 (林業試験場)	263	地球温暖化による気候変動の樹木への影響及び身近な森林に対する病虫害の変化について調査し、その対策について研究を行います。
人工林強度間伐後の林床広葉樹の分布調査 (林業試験場)	1,852	間伐施業と樹冠疎密度の関係を把握し、適正な間伐を実施するための調査研究を実施します。
収穫予想表の更新等に関する研究 (林業試験場)	956	人工林の収穫量予測及び森林施業の計画・立案等に活用するため、近年の人工林データを収集・分析し、本県の人工林収穫予想表・人工林材分材積表の更新を行います。
里山等におけるナラ枯れ防除に関する研究 (林業試験場)	1,392	新たに東毛地域で発生したナラ枯れについて、被害状況調査及びカシノナガキクイムシの発生予察研究に取り組みます。
下刈りの低コスト化に関する調査研究 (林業試験場)	2,579	低コスト群馬県林業システム構築のため、初期造林費用削減として、下刈り作業の低コスト化を図るための実証実験に取り組みます。
森林整備地域活動支援 (林政課)	11,771	森林の持つ多様な公益的機能が高度に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図るため、森林施業を集約するための活動を支援します。
森林境界明確化実証事業 (林政課)	14,000	市町村が外部委託により森林所有者の探索を行う際のマニュアルを作成することにより市町村における森林境界の明確化を支援します。
補助公共事業(林道・林業専用道、作業道) (林政課)	1,520,000	森林の持つ多様な公益的機能の継続的発揮及び山村地域の活性化等のため、国庫補助により林道等の整備や作業道の開設に補助を行います。
単独公共事業(林道・作業道) (林政課)	550,000	補助公共事業で採択されない林道の開設、改良、舗装等の事業や、作業道の開設、改良、架線集材や作業ポイントの整備に補助を行います。
補助公共治山事業 (森林保全課)	4,670,000	山腹崩壊地や荒廃渓流などの復旧整備等を実施し、保安林等における山地災害の防止と軽減、及び、森林の持つ公益的機能(国土保全、水源かん養、生活環境の保全形成等)の発揮を図ります。
単独公共治山事業 (森林保全課)	1,900,000	補助公共治山事業で採択されない小規模な荒廃地の復旧と災害の未然防止を図るとともに、機能の低下した保安林については森林整備を実施します。
・保安林対策 ・保安林管理 ・林地開発許可 ・保安林管理事務促進 ・森林保全管理 (森林保全課)	34,360	公益的機能の発揮が特に期待される森林については、保安林に指定し、立木の伐採などの行為制限を通じて適切な管理を図ります。また、森林保全巡視指導員及び森林保全推進員を配置して森林パトロールによる森林の保護・管理を行うとともに保安林以外の民有林については、1haを超える開発行為(太陽光発電設備の設置を目的とする行為については0.5haを超える開発行為)に対する許可制度を通じて、林地の適正な利用の確保を図ります。
県産木材利用促進対策 (林業振興課)	2,069	児童生徒木工工作コンクールの開催や親と子の木工広場等に対する支援など、木材をテーマにした各種イベントを通して、県産木材の良さを普及します。

### 第3部 2025(令和7)年度に講じようとする施策

みんなで広げるぐんま木づかい推進 (林業振興課)	3,600	「ウッドスタート宣言」の周知や、木育を普及するための指導者の育成に取り組みます。また、育成した木育インストラクターが各地域で実施する木育教室の開催について支援します。
県産材活用推進枠 (林業振興課)	50,000	土木・建築等の公共事業で、特色のある先駆的、モデル的な県産木材の活用を行う場合に事業費を割り当て実施します。
ぐんまゼロ宣言住宅促進 (林業振興課)(再掲)	105,500	県産木材を使用した省エネ・創エネ住宅である「ぐんまゼロ宣言住宅」の普及を通して、「温室効果ガス排出量ゼロ」の実現に取り組みます。
水源林等整備推進 (林政課)	56,000	森林がもっている水源涵養機能をはじめとする公益的機能を健全に保つため、県有林や森林公園の森林整備を進めます。
小 計	10,762,409	

#### ■里山・平地林・里の水辺の再生

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
多々良沼公園管理 (都市整備課)	34,514	多様な生物の育成生息環境を維持し、自然とのふれあいの場や環境保全活動等の場として効率的な維持管理を行います。
ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業 (林政課)	367,803	市町村と地域住民やボランティア団体等による荒廃した里山・平地林の整備等を補助し、県民共有の財産である森林を保全します。
小 計	402,317	
第3節 合計	20,673,337	

## 第4節 安全・安心で快適な生活環境づくり

#### ■水環境・地盤環境の保全、土壌汚染対策の推進

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
公共用水域水質測定調査 (環境保全課)	16,973	公共用水域の水質を把握するため、河川及び湖沼の水質調査を実施します。測定結果は保全行政を行う上での基本データとして活用します。
工場・事業場排水対策 (環境保全課)	761	特定施設を設置している工場・事業場の立入調査を行います。排水基準の遵守状況と施設の維持管理状況を確認し、不適合の場合は改善指導等を行います。
発生事案対策 (環境保全課)	1,406	公共用水域などで水質汚濁事故が発生した場合に迅速・適切に対応し、原因の究明を行います。
流域別環境基準維持達成計画算定 (環境保全課)	917	県内の汚濁負荷データからブロック別の汚濁負荷量とその発生源別の割合を算出するとともに、将来の水質を予測します。
水道水源水質監視 (食品・生活衛生課)	—	県企業局・市町村・群馬東部水道企業団と協力し、県内の主要水源(表流水(河川水)及び地下水)の水質検査を定期的実施し、将来にわたり安全・安心な水道水を供給するための基礎データを収集します。
建設改良(流域下水道) (下水環境課)	3,928,826	快適で衛生的な住環境を確保するとともに、公共用水域の水質を維持改善するため、流域下水道の整備を行います。
市町村下水道事業費補助 (下水環境課)	36,250	公共水域の汚濁負荷を軽減し、きれいな水辺環境を維持するため、市町村が実施する住民に対する接続支援及び特定環境保全公共下水道事業を補助します。
農業集落排水 (下水環境課)	112,450	農業用水の水質保全、農村生活環境の改善及び農業生産の安定と活力ある農村社会の形成を図るため、市町村が実施する農業集落排水事業を補助します。
浄化槽対策 (下水環境課)	278,900	快適で衛生的な住環境を確保するとともに、公共用水域の水質を維持改善するため、市町村が実施する浄化槽整備事業を補助します。
工業用水道事業給水業務 (企)水道課)	1,935,081	渋川工業用水道、東毛工業用水道における表流水による給水業務及び維持管理を行います。
工業用水道事業建設 (企)水道課)	870,865	渋川工業用水道、東毛工業用水道の更新・改良工事等を実施します。
広域的水道用水供給事業給水業務 (企)水道課)	4,269,132	県央地域広域的水道整備計画に基づき群馬県水道を運営し、表流水による給水業務及び施設の維持管理を行います。
広域的水道用水供給事業建設 (企)水道課)	1,605,211	浄水処理施設の更新・改良工事等を実施します。

利根川水系上下流交流事業 (地域創生課土地・水対策室)	500	本県と東京都とで組織した実行委員会により、種々の交流事業を通じて、水と水を育む森林の大切さについて認識を高め、相互の理解を深めます。
地盤変動調査一級水準測量 (環境保全課)	14,514	平坦部の地盤沈下の状況を調査するため、広域的な一級水準測量を行い、実態の把握を行います。
地盤沈下計管理及び実態調査 (環境保全課)	4,019	地盤沈下観測井の機器等のメンテナンス及び観測データの回収を行い、地盤沈下の実態把握を行います。
地下水質測定調査 (環境保全課)	6,625	地下水の汚染状況を把握するため、地下水質調査を実施します。
土壌汚染対策 (環境保全課)	1,642	土壌汚染による健康被害防止のため、地下水等の調査や必要な対策の実施を指導します。
土壌調査結果のDX化 (環境保全課)	151	土壌調査結果報告のデジタル化等を進め、事務処理の効率化・迅速化を行うことで土地の利活用を促進するほか、過去に提出された報告書を電子化し、データの有効活用を図ります。
地域と調和した畜産環境確立 (米麦畜産課)	158	畜産環境整備リース事業の円滑かつ効率的な推進を図るための調整や情報提供等を行うことにより、畜産環境問題の解決を図ります。
小 計	13,084,381	

### ■大気環境の保全、騒音・振動・悪臭の防止

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
工場・事業場の大气規制 (環境保全課)	2,380	ばい煙発生施設等に係る排出基準の適合状況の監視など、「大気汚染防止法」等に関する各種事業を行います。
大気汚染監視施設の管理運営 (環境保全課)	65,084	大気汚染常時監視施設により、大気汚染の状況を監視し、緊急時には注意報等を発令して、健康被害の防止を図ります。
大気環境測定調査 (環境保全課)	11,298	有害大気汚染物質による大気汚染の状況を監視します。また、東邦亜鉛(株)安中製錬所周辺における浮遊粒子状物質、降下ばいじん等の環境調査を行います。
騒音・振動規制法運営及び測定機器の整備・修理 (環境保全課)	204	騒音・振動に係る法令及び条例に基づく指導の中心となっている市町村を対象に研修会の開催や、測定機器の貸出等を行います。
道路交通騒音測定評価 (環境保全課)	1,121	幹線道路沿道に立地している住居等が受ける道路交通騒音の影響を推計し、環境基準との比較を行います。
悪臭対策 (環境保全課)	310	「悪臭防止法」に基づく臭気指数による規制地域の指定を進めるとともに、事業者に対する指導の中心となる市町村を対象に、臭気指数規制についての理解を深めるための嗅覚測定法研修会の開催や、情報提供等の支援を行います。
臭気対策と畜産環境保全対策推進 (米麦畜産課)	1,766	悪臭防止のために脱臭装置等の整備を補助するとともに、畜産農家の環境保全状況調査、巡回指導、研修会等により、畜産環境保全に対する意識を啓発し、河川や地下水の汚染防止を図ります。
小 計	82,163	

### ■有害化学物質による環境リスクの低減

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)の管理運営 (環境保全課)	91	化管法に基づく届出事務を行うとともに、法の普及啓発や、公表された化学物質の排出量を基に環境調査を行います。また、化学物質に関するリスクコミュニケーションを推進し、事業者、住民、行政が情報を共有し相互理解を図ることで、効率的な化学物質の環境リスク低減を推進します。
ダイオキシン類対策 (環境保全課)	4,204	環境中のダイオキシン類濃度の常時監視や、対象事業場におけるダイオキシン類排出基準の適合状況の監視など、法に関する各種事業を行います。
アスベスト飛散防止 (環境保全課)	9,576	アスベスト使用建築物の解体工事現場等で、立入検査を実施します。
アスベスト対策 (建築課)	67	小規模民間建築物吹付けアスベスト等台帳整備を行い、所有者への指導・助言、分析調査・除却等の対策を推進します。

### 第3部 2025(令和7)年度に講じようとする施策

小 計	13,938	
-----	--------	--

#### ■放射性物質への対応

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
環境放射能水準調査 (環境保全課)	13,086	原子力規制委員会の委託を受け、環境中の放射能レベルの測定等を行います。
放射線測定器校正 (感染症・疾病対策課)	40	表面汚染測定器(GM管式サーベイメータ)の測定精度を維持するため校正を行います。
放射能除染対策(測定機器校正) (環境保全課)	116	空間放射線量測定器の精度を維持するため校正を実施し、汚染状況重点調査地域指定市町村等への貸出しを行います。
環境保全関係GIS・広報推進 (環境保全課)	2,698	空間放射線量率のデータをGIS(地理情報システム)に入力し、ホームページで公開するほか、各分野の放射線対策の進捗状況を取りまとめて広報等を行います。
農産物等放射性物質検査 (野菜花き課)	9,768	食の安全を確保するため、農産物等の放射性物質検査を行います。
農産物の放射性物質検査 (農政課)	—	県内で生産された農産物(米、麦、野菜、工芸作物等)について、国へ検査を依頼するなどにより安全性を確認しています。
水産物の放射性物質検査 (蚕糸特産課)	—	県内の河川湖沼で採捕された水産物や養殖場で飼育された水産物について、国へ検査を依頼し安全性を確認しています。
群馬のきのこ安全確保対策 (林業振興課)	12,021	原木きのこ栽培管理指導のため、ほだ木等の放射性物質検査を実施するとともに、きのこ及び野生の山菜類について、モニタリング検査を実施し安全を確認しています。
放射性物質を低減させるきのこ原木林更新技術開発 (林業試験場)	113	きのこ原木林における放射性物質低減技術を開発するために、原木林の汚染状況を調査します。萌芽更新等により原木林の再生を図り、地元の木を使った原木きのこ生産の再開を目指します。
野生鳥獣肉放射性物質検査 (自然環境課)	2,015	野生鳥獣肉の放射性物質検査を継続実施し、結果を県のホームページで公表します。
県営水道の放射性物質検査 (企)水道課)	987	水質管理センターで保有している検査機器を用いて、県営水道等の水道水の放射性物質検査を行います。
放射性物質汚染対処特別措置法遵守状況監視 (廃棄物・リサイクル課)	210	国による処理が行われるまでの間、発生施設で一時保管されている指定廃棄物に関し、保管の安全性を確認するほか、市町村と国との調整を行います。 「放射性物質汚染対処特別措置法」に基づく特定一般廃棄物処理施設について、維持管理基準等の遵守状況を監視するとともに、必要な指導を行います。
小 計	41,054	

#### ■快適な生活環境の創造

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
景観行政推進 (都市計画課)	852	地域に根ざした景観形成を推進するため、市町村、住民及び事業者の地域特性を生かした景観づくりを支援します。
屋外広告物適正化推進 (都市計画課)	1,543	快適で潤いのあるまちづくりを推進するため、違反広告物の除却や自然・景観と調和した広告物への誘導等を行います。
社会資本総合整備 (都市計画課)	159,000	市街地の秩序ある整備を図り、快適な居住環境を形成するため、組合土地区画整理事業費の一部を補助します。
敷島公園管理 (都市整備課)	169,957	県民に親しまれる「運動公園」としての役割が発揮できるよう、効率的な維持管理を行います。
群馬の森管理 (都市整備課)	40,275	平野部の貴重な樹林地の保全、育成、活用を進め、都市公園の効率的な維持管理を行います。
金山総合公園管理 (都市整備課)	122,590	家族が皆で利用できる都市公園としての役割が発揮できるよう、効率的な維持管理を行います。
観音山ファミリーパーク管理 (都市整備課)	68,004	県民参加による公園管理運営を推進し、県民ニーズを反映しながら快適に公園を利用できる環境づくりを進めます。
多々良沼公園管理 (都市整備課)(再掲)	34,514	多様な生物の成育生息環境を維持し、自然とのふれあいの場や環境保全活動等の場として効率的な維持管理を行います。
公園施設維持修繕 (都市整備課)	179,700	県民が安全・安心に公園を使用できるように、公園内にある施設、遊具等の補修、修繕を行います。

緑化推進対策 (林政課)	6,144	県民の緑化意識の高揚と緑豊かな郷土づくりのため、県植樹祭など各種イベントを開催し緑化運動を推進します。
美しい郷土を守る県民大作戦 (環境政策課)	174	美しい郷土づくりをより一層推進するために環境美化月間を設けて、ごみ拾い等の清掃活動や啓発活動を行います。
公害紛争処理の管理運営 (環境保全課)	254	「公害紛争処理法」及び「群馬県公害紛争処理法施行条例」の規定に基づき、公害紛争に関して、あっせん、調停、仲裁を行います。
公害苦情相談 (環境保全課)	309	公害に関する苦情について、県及び市町村での受付及び処理の状況把握を行います。また、公害苦情対応を行う市町村を側面から支援します。
環境生活保全創造資金融資 (環境政策課)	574,791	産業公害、都市生活型公害、地球温暖化などの幅広い環境問題に自主的に取り組む県内の中小企業者等に長期・固定金利の融資を貸し付けることにより、良好な環境の保全と循環型社会づくりを推進します。
文化財保護審議会の運営 (文化財保護課)	2,469	貴重な文化財等の保存・活用ができるように、文化財の指定及び解除等を審議します。
文化財保存事業費補助 (文化財保護課)	79,661	国・県指定文化財等の保存を図るとともに、学習の場及び憩いの場として活用するための事業に補助を行います。
文化財パトロール (文化財保護課)	2,156	国・県指定文化財等の保存を図るため定期的に巡視を行い、指定文化財等の現状把握をして良好な保存状態を保つとともに、保存修理事業計画立案の資料とします。
高山蝶パトロール (文化財保護課)	201	県指定天然記念物の高山蝶保護のため、生育状況や周辺環境について保護団体に委嘱してパトロールを行います。
開発関連埋蔵文化財試掘調査 (文化財保護課)	6,097	公共開発の前に埋蔵文化財の所在や範囲を把握するための試掘調査を行い、文化財保護と開発の調整を図ります。
観音山古墳保護管理運営 (文化財保護課)	5,712	復元整備された前方後円墳である国指定史跡観音山古墳を維持・管理するとともに、安全に見学でき学習効果が上がるための条件整備を行います。
上野国分寺跡保護管理運営 (文化財保護課)	18,111	国指定史跡である上野国分寺跡の保存管理や見学者への解説などを行い、理解を深めてもらうとともに、国分寺跡をよりよい状態で後世へ継承していきます。
県内古墳の理解促進事業 (文化財保護課)	3,250	古墳県群馬として、現地で古墳情報がわかりやすく伝わるように整備・活用を推進します。
世界遺産の包括的保存管理 (文化振興課)	356,609	世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする県内の絹遺産を次世代に引き継ぐため、保存整備や活用事業を推進します。
有機農業推進 (農政課)	67,711	有機農業の拡大に向けた人材育成、販売対策、消費者の理解促進を図り、環境負荷低減・資源循環型農業を推進します。
環境保全型農業推進 (農政課)	56,219	化学肥料・化学合成農薬の使用量や回数等の低減に向けた取組を推進するとともに、環境保全に効果の高い営農活動をしている農業者等に対して、交付金を交付します。
小 計	1,956,303	

## ■特定地域の公害防止対策

施策名(実施課等名)	予算額(千円)	施策の概要
碓氷川流域土壌汚染対策 (農政課)	938	排土・客土工事を実施した畑対策地域において、指定地解除に向けて事業効果を確認するため、陸稲栽培試験(事業効果確認)を実施します。
渡良瀬川公害対策補助 (農政課)	311	渡良瀬川鉍毒根絶期成同盟会の自主的な鉍害対策事業に対し、補助金を交付します。
重金属等安全対策 (農政課)	233	指定地における農作物の重金属吸収試験を実施し、土壌汚染対策工事計画作成のための資料とします。
碓氷川流域環境測定調査 (環境保全課)	433	東邦亜鉛(株)安中製錬所周辺の碓氷川・柳瀬川流域の水質・底質を調査します。
渡良瀬川公害対策 (環境保全課)	681	古河機械金属(株)との公害防止協定に基づき、公害防止協議会の開催、鉍山施設の立入検査、抗廃水及び渡良瀬川の水質調査を実施します。また、降雨時における渡良瀬川の水質監視体制を強化するため、オートサンプラー(自動採水器)を運用します。
小 計	2,596	
第4節 合計	15,180,435	